

このたびは リジッドボルト をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

リジッドボルト 装着方法

はじめにお読み下さい。

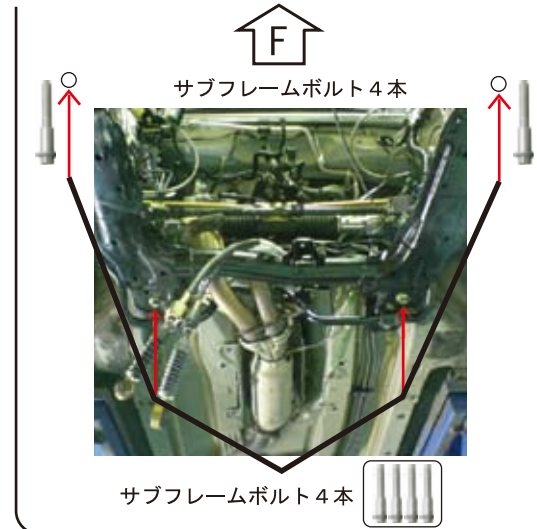
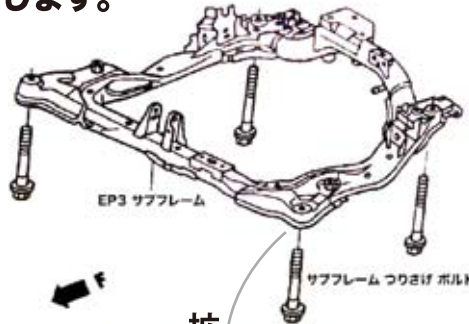
- 走行後は、エンジン、マフラーが 高温になっているため 十分に冷えてから 装着を行ってください。
- 整備士以外の方が 作業すると ケガ の恐れがあり 危険ですので、設備の整った 自動車整備工場 で 専門の教育を受けた 整備士 に装着をご依頼ください。
- サブフレームボルトは、ゆるみにくいことがあります。スプレー式などの浸透性潤滑油を使用し、適正な工具を使用して無理のない作業をおこなって下さい。特に手の怪我を防ぐために作業用の手袋を着用して下さい。
- リジッドボルト装着は自動車の床下作業になりますので、持ち上げた自動車が不安定な状態で作業をすると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業して下さい。
【2柱式リフトをお薦めします。】
やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジッドトラック（うま、安全スタンド）を併用して安全に作業して下さい。
★車載ジャッキでの作業は危険なので絶対におやめ下さい★

(1) 純正サブフレームボルトを外します。

事故防止のため、必ず、**安全**な環境で作業してください。
また、**適正工具** をご使用ください。

- 1. 最初に、サブフレームボルト4本を全部ゆるめ 20mm程 頭を4本共 出します。
(右ページをよくお読みください。)

4本外してもサブフレームは落ちてきません。



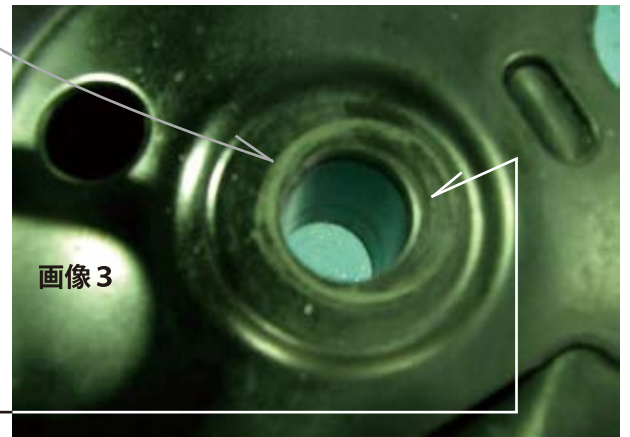
(2) リューターで削ります。

削った粉が目に入らないように、必ず、**ゴーグル**を着用してください。

- 2. 1本ずつ 入口のバリを リューターで削ります。なんどもボルトを差込みながら、「**スポット**」とカラーが入ると完了です。
(右ページをよくお読みください。)

ノーマル量産車の欠点は、流れ作業で生産するので、大きな（パカ穴）に成っているのは、仕方のないことです。

だから、そのノーマル量産車の悪いところをリジッドボルトで解決すると見違えるほど、良いステアリングに成るわけです。



(3) リジッドボルトを装着します。

まず、装着前に CR-C塗布など、前処理します。
(右ページの ●3. ~ ●4. をよくお読みください。)

- 5. 締め付けて行く方法は、あたりまえですが、何回も対角線で、7 Kg から始め小さなトルクから序所に、トルクレンチで増し締めして 3回程度に分けて締めて行きます。締め付けトルクは、最終的には、**20 Kg** 以内のインパクトで、しっかり締めして下さい。

